お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんの電子カルテのデータを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、電子カルテのデータを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

統計的特徴を維持した合成データ生成手法の品質評価

【研究機関】愛媛大学医学部医療情報学講座

【研究責任・代表者】木村映善（医療情報学講座 教授）

【研究の目的】

近年において、電子カルテをはじめとした日常の診療行為において使われるシステムに蓄積された医療情報を活用した臨床研究の有用性が注目されています。しかし、機微な要配慮個人情報を含む医療情報は、適切に匿名化する必要がありますが、匿名化によりデータの品質が低下してしまい、臨床研究に支障をきたす場合があります。

そこで、これまでの匿名化の方法ではなく、実物データをコンピュータが学習し、実物データに統計的特徴が似ている「合成データ」を生成する手法を検討しました。統計的な特徴のみが似ている合成データですので、特定の個人のデータではありません。本研究では、合成データで有用な臨床研究が可能かどうかを評価することを目的としております。実データとして、過去に受診された患者さんの電子カルテの情報を収集し整形致します。本研究の手法が実用化されれば、有用性の高い合成データを作成し、個人情報を保護しつつ有用な臨床研究ができると考えております。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2009 年 1 月から 2020 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方
（利用するカルテ情報）
　性別、受診時年齢、受診・入院診療科、合併症、既往歴、身体所見、検査結果、処方・注射・処置、患者基本情報、アレルギー、病名、入退院歴、手術等

　電子カルテから分析用のデータを抽出し、同じく愛媛大学医学部附属病院構内に設置したコンピュータ上で、実データの解析と合成データの生成を行い、実データと合成データの統計的な差異の評価を行います。

【共同研究について】
　この研究は、日本電信電話株式会社と愛媛大学との共同研究下に行われます。分析に従事する者は、守秘義務のある契約下に愛媛大学医学部附属病院構内で作業いたしますので、院外へのデータ伝送や第三者への提供が行われません。

【個人情報の取り扱い】
　電子カルテから収集する情報から政令にて指定されている個人識別符号を除去いたします。本データについては外に漏れることがありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞
愛媛大学医学部附属病院　医療情報講座　木村映善

　さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問いざい合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】
愛媛大学医学部　医療情報学講座　木村映善
791-0295　愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5695